



1. Requiem 鎮魂歌



3.11.2011

大きな波のうねりは、海の底に多くの命をさらっていきました。

失われた命の多さに、残されたものたちは哀しみに包まれました。

けれども、失われたものは元に戻る事は無いのです。

誰もいなくなった荒野で、取り残された犬や牛たちはなすすべもなく死んで行きます。

この星のうえで起きる悲劇の犠牲になる美しい命たち。

地球を覆うこの大きな哀しみを想って

わたしはただ、唄うように祈りたいのです。

その哀しみのほんのグラムでも、癒されるのなら。

2. α and ω 始まりと終わり。



始まりがあれば、終わりがあります。

繁栄は衰退と対になっていて

歴史は転換期を迎えています。

産業革命の後、資本主義が人間の社会の常識として君臨し、

わたしたちは物質主義があたかもすべてを司るものとして

それを疑う事もなくなりました。

わたしたちが祈り、魂を捧げるカミサマは、お金なのです。

嘘に塗り固められたお金のカミサマは、今にもはじけようとしています。

その大きな混乱を予感させるのは、街を飲み込んだ巨大な青い波の群れ。

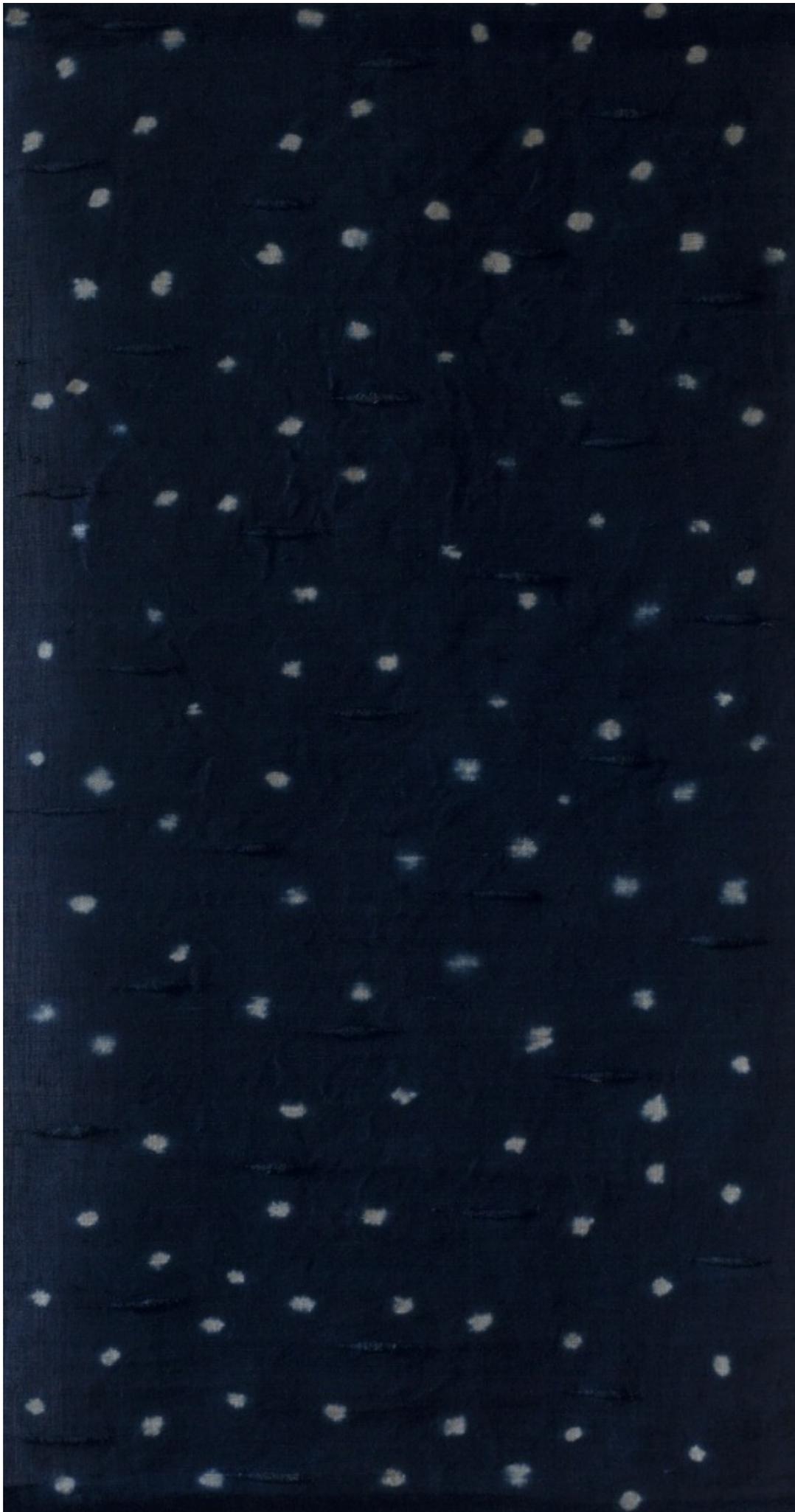
あとかたもなく消え去った昨日までの日々。

命には、終わりがあります。

今まさに、一つの時代が終わろうとしています。

3. Kahos 混沌





終焉のあとは、世界は混沌とするでしょう。

この混沌の時代がどれだけ続くのかわかりません。

なぜなら、わたしたちの命の長さでは測れないからです。

カオスはギリシャ神話の神様です。

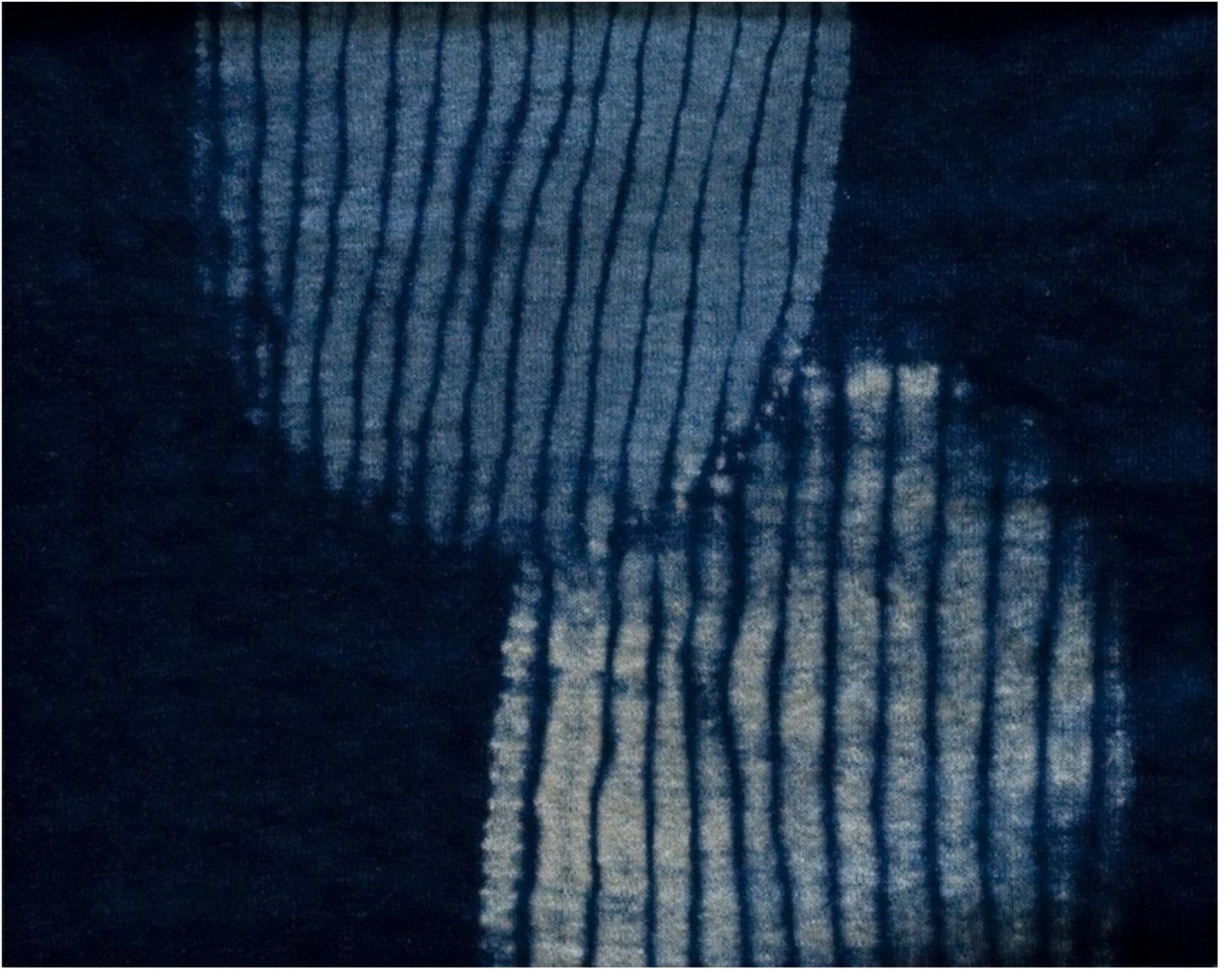
カオスには、娘が居ます。

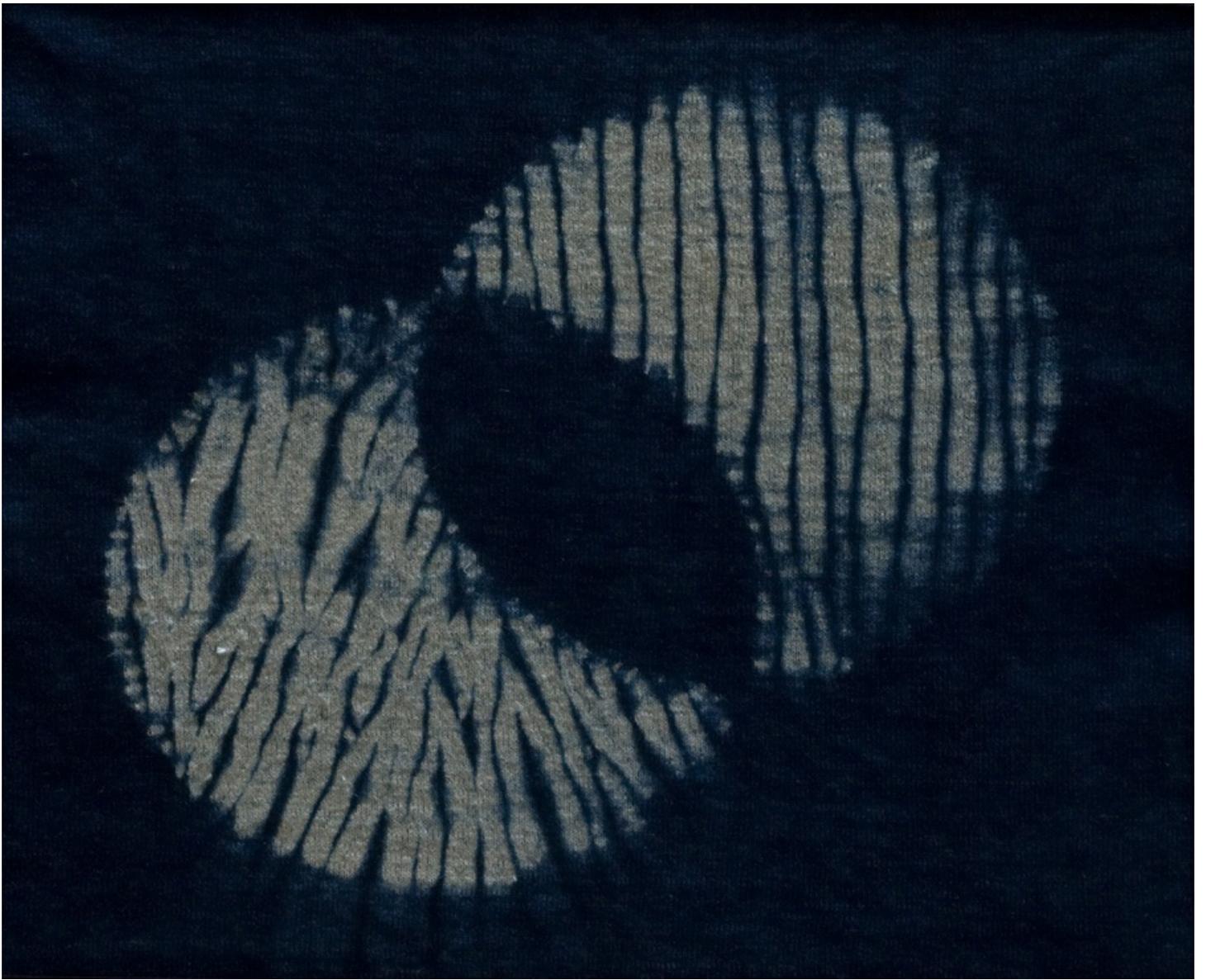
明けない夜が無いように、この希望の光が見えない長い夜から

必ず、光が、産まれるのです。

4. Union 融合









はるか昔、有機生命体がこの地球に産まれたのは

何万光年の彼方から旅をして来た彗星の持っていた有機体からと言われています。

地球が彗星に出会う前、

まっくらな混沌の闇の海でひとりぼっちでした。

地球と彗星は、何万光年の孤独の時間の果てに、奇跡的に出会うのです。

彼らが出会い、溶け合い、融合し、命が産まれました。

そうして、お互いに知るのでしょう。

あなたを待っていたと。

5. Gaia 命





カオスは、ガイアを産みます。

ガイアは育まれた命です。

始まりと終わり、誕生と死、繁栄と終焉が対になっているように

カオスはガイアと対になっているのです。

混沌の闇が深ければ深いほど、産まれてくる命は、美しいでしょう。

孤独の闇の中で、恋いこがれていた星たちの願いによって産まれたわたしたちは、

そのまた奇跡なのです。

それは、愛であり希望。

どうか、憶いだしてください。

6. Creation 創造





眠っていた記憶の封印が解けて

わたしがわたしに還る時、新しい時間は動き始めます。

わたしは求めるように創り始めます。

まるで呼吸するように自然な事で、それが産まれて来た意味だと知ります。

わたしたちが創る時、わたしたちは愛の記憶とともにあります。

それは例えようも無く深く美しく闇の底に輝く青い光のように。

わたしは創りだされたものに祈る事は無いでしょう。

けれども、創ることは、祈る事で、ただその瞬間のみ

あなたのカミサマがそこにいるのです。